

過年度の地域協議会での意見と対応案

過年度の地域協議会での主な意見等		対応案（事務局）
平成30年度第1回（2018/8/27）	平成30年度第2回（2019/3/18）	
<ul style="list-style-type: none"> サービスセンターの役割は全体の中でどういった位置付けにするのかは改めて議論すべき。建物のストック資本をどう利用するか、空間整備にどう反映するのか、といった部分が抜けている。 全体の流れの議論ができていない。全体を俯瞰した話し合いをできるようにすべき。 淀川全体で考えて、その下流域にある守口サービスセンターにどういった機能が必要か。 		<p>○淀川河川公園における守口サービスセンターの役割とサービスセンターが担う機能のイメージについて、資料を提示する。</p> <p>【整備計画案への反映】 淀川河川公園全体における守口サービスセンターが果たす役割、機能を記載</p>
<ul style="list-style-type: none"> もっと広く地区を見るべきではないか。「守口地区」だけに注目されていないか 守口地区だけに注目するだけでなく、交通などの利便性という面からもっと広く人が来ることを想定すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画は守口外島となっているが、太子橋も一体的に利用されているのが実情である。広域的な視点で計画してほしい。 守口だけでなく、全体を見た計画となっているか、確認してほしい。 外島地区も併せた利用を考えたいうえで、スポーツプラザ跡地の再整備をどうするかを重点的に考える必要があるのではないか。 水辺環境保全・再生ゾーンの利用をどうするかを考える必要がある。水辺の利活用を考える上ではこのゾーンの利用が不可欠である。次年度以降もこのゾーンの利用についてもっと議論していくべきである 	<p>○公共交通機関や人の流れを考慮し、守口地区隣接する外島地区、太子橋地区等の一体的な利用を想定した広域的視点に基づく計画とする。</p> <p>○自然観察などの水辺環境保全・再生ゾーンの利活用プログラムを社会実験として行うなど地域と連携して進める。</p> <p>【整備計画案への反映】 外島地区に隣接する太子橋地区と八雲野草地区を記載する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 学校との連携がないように思われる。教育委員会・学校との連携が重要ではないか。 小学校4，5年生くらいで観察会等を定期的に学校行事的に受け入れている地点は今のところはない。 子どもたちに河川がどういった場所か伝えた方がよい。教育機関と連携し、河川のことを教えるような取り組みを目指すべき。 学習機能を持った自然とのふれあい機能といったプログラムを充実させてほしい。 子どもたちだけでなく、子育て世代の大人も積極的に学べるイベントを実施すべき。 小学生を対象として設定するのであれば、まず、教育関係者への指導プログラムが必要ではないか。 <p>→点野地区での事例があり、教育関係者などへの聞き取りをする予定がある。その結果をこちらでも活かしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 守口市内の学校では河川利用についてどう扱っているのか。→全校について把握しているわけではないが、利用されていないと思われる。 自然観察などのプログラムは社会実験などをしながら、どう使っていくかを考えていくべき。 	<p>○教育機関との連携によりサービスセンター及び河川公園の利活用を進める。</p> <p>○幅広い世代の利用者が河川環境を学習できるプログラムを、社会実験として行うなど地域と連携して進める。</p> <p>【整備計画案への反映】 ・守口サービスセンターが果たす役割、機能追記。 ・教育機関等との連携により進めることを記載。</p>
—	<ul style="list-style-type: none"> プログラムやアンケートからカフェの需要が高かったとあるが、あの場所での経営は成り立たないと思う。イベント時にキッチンカーが出店する程度であれば、まだ可能性はあるだろう。 カフェは社会実験を重ねながら、今後の導入形態を考えていくのがよいのではないか。 	<p>○カフェ機能等（民間活力導入）は、当面、イベント時におけるキッチンカーの出店等を基本に考える。</p> <p>【整備計画案への反映】 イベント時におけるキッチンカー等の誘致について記載。</p>
—	<ul style="list-style-type: none"> 整備スケジュールを考える上で、サービスセンターや運動施設等の整備を順に行うなどして利用者が公園から離れてしまうことがないように配慮してほしい。 再整備では、スケートリンクのようにハード整備するのではなく、点と構造などのやわらかいものの方が良い。 	<p>○サービスセンター等の再整備事業スケジュールにおいて、利用者が公園サービスの提供を受けられるように配慮する。</p> <p>○公園の利活用の状況変化に合わせた可変的な施設整備の求めに対し、継続した整備内容の検討を行うことを記載。</p> <p>【整備計画案への反映】 再整備事業中の利用者サービスについて記載。</p>